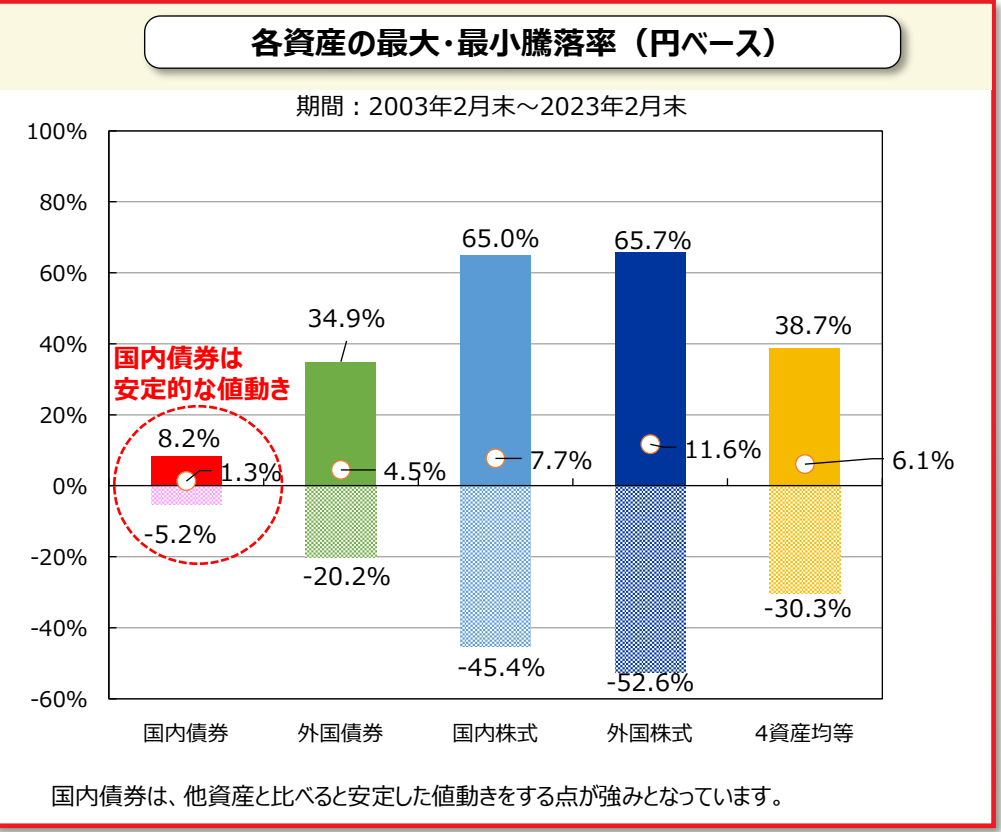


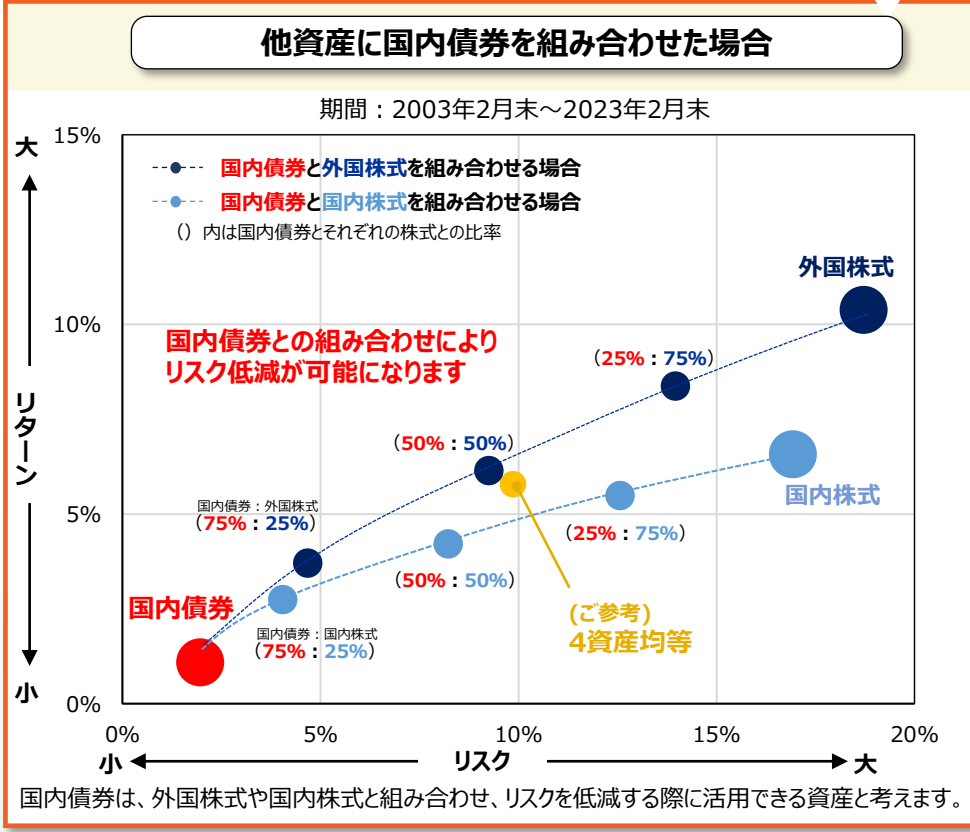
※ 本資料は、「明治安田日本債券オープン（毎月決算型）」および「明治安田日本債券オープン（年1回決算型）」を投資家のみなさまにご理解いただくために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。「明治安田日本債券オープン（毎月決算型）」を「（毎月決算型）」、「明治安田日本債券オープン（年1回決算型）」を「（年1回決算型）」、ならびにこれらを総称して「当ファンド」ということがあります。

● 安定的な値動きを強みとする国内債券



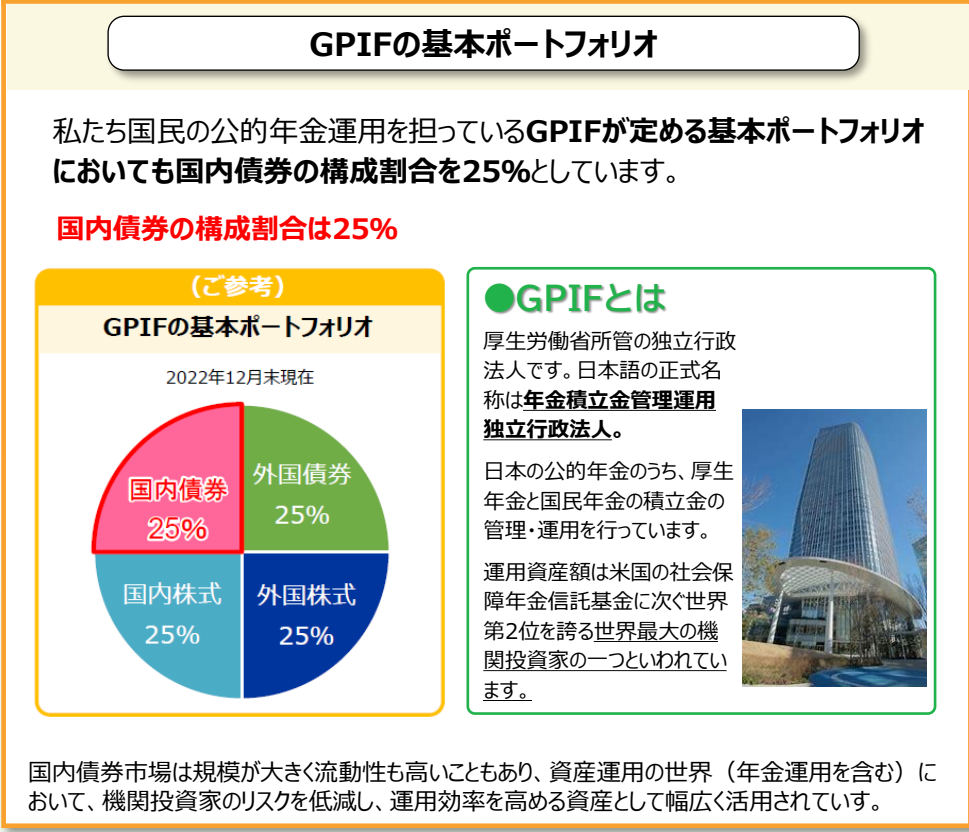
※ 4資産均等は、国内債券、外国債券、国内株式、外国株式の4資産を均等に配分し、月末時点でリバランスを行うことで算出しています。
 ※ 上記のグラフは、各月末における直近1年間の騰落率データを用いて、平均、最大、最小を表示したものです。
 出所：ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

● 他資産との組み合わせでリスクを低減



※ 上記のグラフは、国内債券、外国債券、国内株式、外国株式の各月末データをもとに算出したものです。
 出所：ファクトセットのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

● 年金運用でも重視されている国内債券



※ GPIFの基本ポートフォリオは時価の変動などにより25%に完全に一致するものではありません。また、各資産毎に乖離容認幅を定めています。
 出所：GPIFのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

● 当ファンドの安定した運用実績

運用実績を評価いただき数多くの賞を受賞

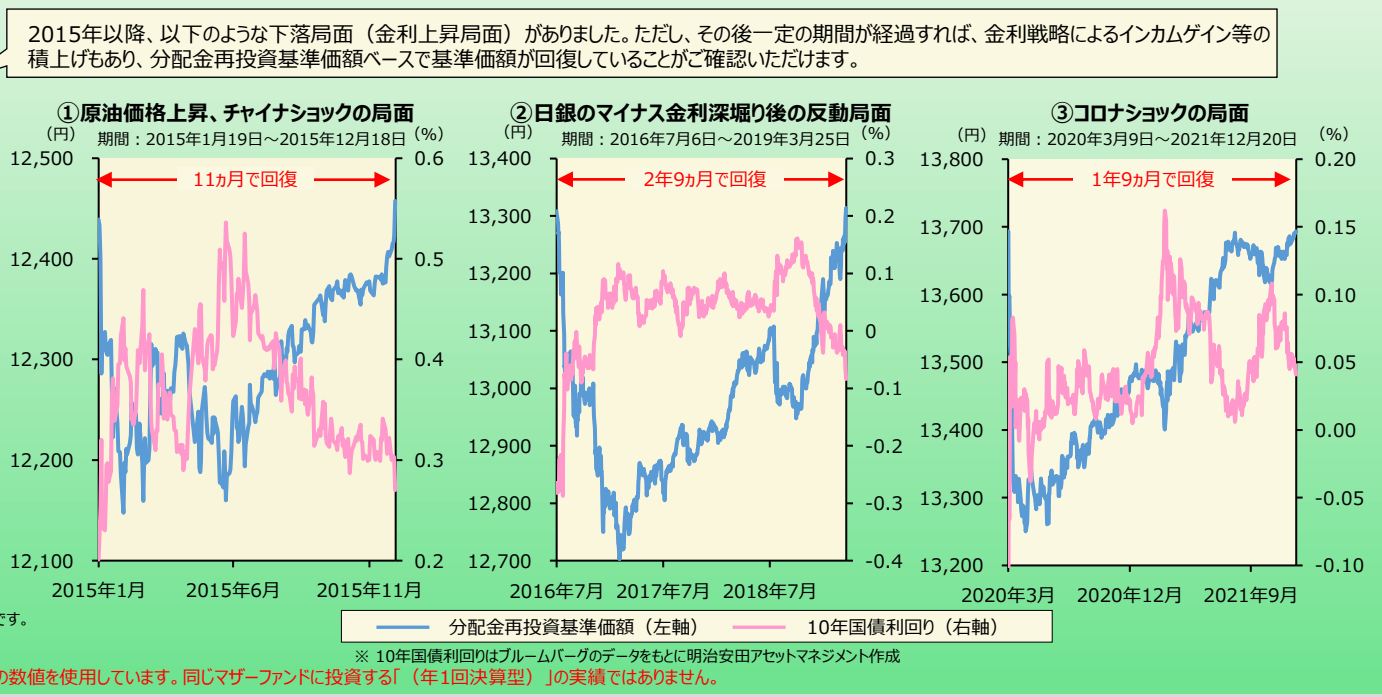
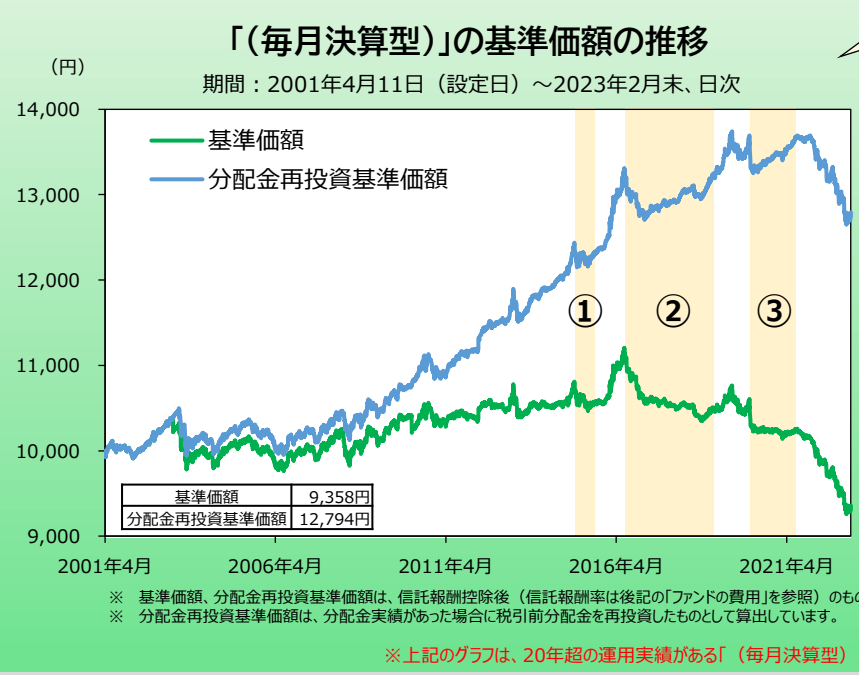
リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023
 「最優秀ファンド賞」

REFINITIV LIPPER FUND AWARDS
 2023 WINNER JAPAN
 明治安田日本債券オープン(毎月決算型)
 愛称:しあわせ宣言(毎月決算型)
 債券型 日本円 評価期間 10年

R&Iファンド大賞2022「最優秀ファンド賞」

R&I ファンド大賞 2022
 明治安田日本債券オープン(毎月決算型)
 愛称:しあわせ宣言(毎月決算型)
 投資信託10年&投資信託/国内債券 部門
 明治安田日本債券オープン(年1回決算型)
 愛称:しあわせ宣言(年1回決算型)
 投資信託/国内債券 部門

(上記以外に他の受賞もあります) ※アワードについては裏面をご参照ください。



【本資料で使用する指数について】
 国内債券はNOMURA－BPI総合、外国債券はFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし、円ベース)、国内株式は東証株価指数(TOPIX、配当込み)、外国株式はMSCI－KOKUSAI(配当込み、円ベース)を使用しています。指数に関する知的財産権その他一切の権利は指数の発表元に帰属します。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合
 お申込み／販売会社は…株式会社三菱UFJ銀行
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合
 ●お問合せ・ご照会は…株式会社三菱UFJ銀行
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●委託金融商品取引業者／販売会社は…三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
 加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は
 明治安田アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第405号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当ファンドのポイント

① 国内債券に投資します。

- 国債、政府保証債、地方債、利付金融債、社債等に投資します。
- NOMURA－BPI総合をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。
- 日本円で発行される債券に投資しますので為替変動リスクはありません。

② 原則として取得時にA格相当以上*の公社債に投資します。

* 信用リスクの低減を図るため、原則として取得時にA格以上の公社債およびそれと同等の信用度を有すると委託会社が判断した公社債に投資します。

③ ファンドメンタルズ分析を重視したアクティブ運用を行います。

- 低金利環境下で国内債券投資においてはアクティブ運用の重要性が高まっていると考えています。

④ （毎月決算型の場合）毎月10日（休業日の場合は翌営業日。）に決算を行います。 （年1回決算型の場合）年1回（4月10日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行います。

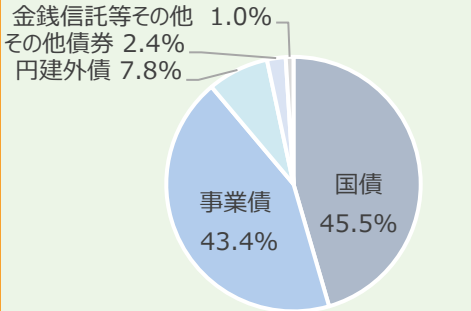
※資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

〈収益分配金に関する留意事項〉

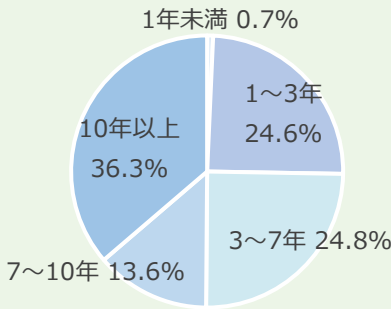
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンドの購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがいさかった場合も同様です。

ポートフォリオの状況（マザーファンドにおける組入状況 2023年2月末時点）

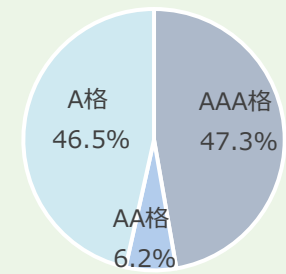
債券種別組入状況



債券残存年数別組入状況



格付別組入状況



債券の特性

修正デュレーション	8.7
残存年数	9.8年
複利最終利回り	1.3%
平均格付	AA-

※「修正デュレーション」は、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の1つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表し、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。「複利最終利回り」は、償還日まで保有した場合の複利利回りです。
※「債券種別組入状況」は純資産総額に対する割合。「債券残存年数別組入状況」、「格付別組入状況」、「債券特性」は、組入債券評価金額合計に対する割合です。
※格付は、格付投資情報センター、日本格付研究所、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、スタンダード・アンド・プアーズの上位格付を使用しています。「平均格付」は、かかる格付を加重平均して算出したものであり、当ファンドの格付ではありません。
※「修正デュレーション」、「残存年数」、「複利最終利回り」は、最初の繰上償還可能日を基準に計算しています。「複利最終利回り」は実際の投資家利回りとは異なります。
※比率は四捨五入関係で合計が100%とならないことがあります。

お申込みメモ

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

換金単位	投資信託口座：1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。 金融商品仲介口座：1口以上1口単位、または全部。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金の申込みには制限を設ける場合があります。
信託期間	（毎月決算型）無期限（2001年4月11日設定） （年1回決算型）無期限（2018年7月17日設定）

ファンドの費用

●お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額（購入価額×購入口数）×手数料率で得た額　手数料率は、購入代金（購入金額+購入時手数料（税込））に応じて以下の率とします。	
	購入代金	手数料率
	1億円未満	0.55%（税抜0.5%）
	1億円以上	かかりません
※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。ただし、優遇対象外の場合もあるため、くわしくは三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。 スイッチングの場合：かかりません。		
信託財産留保額	ありません。	

●お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年0.198%～0.715%（税抜0.18%～0.65%）の率 を乗じて得た額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、 ファンドの日々の基準価額に反映されます。なお、運用管理費用（信託報酬）の実質的な配分は次のとおりです。					
	＜内訳＞					
	配分	料率（年率）				
	新発10年国債 利回り*	1%未満の場合	1%以上 2%未満の場合	2%以上 3%未満の場合	3%以上 5%未満の場合	5%以上の場合
	委託会社	0.055% (0.05%)	0.11% (0.1%)	0.176% (0.16%)	0.264% (0.24%)	0.308% (0.28%)
	販売会社	0.11% (0.1%)	0.22% (0.2%)	0.33% (0.3%)	0.352% (0.32%)	0.363% (0.33%)
	受託会社	0.033% (0.03%)		0.044% (0.04%)		
合計	0.198% (0.18%)	0.363% (0.33%)	0.55% (0.5%)	0.66% (0.6%)	0.715% (0.65%)	
() 内の数値は税抜						
* 新発10年国債利回り水準は、各計算期間開始日の前月末における日本相互証券株式会社が発表する新発10年固定利付国債の利回り（終値） にて判定し、当該計算期間において適用します。						
※支払先の役務の内容は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。						
その他の 費用・手数料	信託財産の監査にかかる費用（監査費用）として監査法人に年0.0022%（税抜0.002%）を支払う他、有価証券等の売買の際に売買仲介人に支 払う売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、その他信託事務の処理に要する費用等がある場合には、信託財産でご負担いただきます。 ※その他の費用については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示することができません。また、監査費用は監査法人等によって 見直し、変更される場合があります。					

※当該手数料等の合計額については、投資者の皆さまの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資リスク

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

明治安田日本債券オープン（毎月決算型）および明治安田日本債券オープン（年1回決算型）は、直接あるいはマザーファンドを通じて、債券（公社債）など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。

したがって、金融機関の預貯金と異なり投資元本は保証されず、元本を割り込むおそれがあります。また、ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

なお、ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。

＜主な変動要因＞

債券価格変動リスク	債券（公社債等）の価格は、金融情勢・金利変動および信用度等の影響を受けて変動します。一般に債券の価格は、市中金利の水準が上昇すると下落します。保有する債券価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
信用リスク	投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価額で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券を売買しようとする際、需要または供給が少ない場合、希望する時期・価格・数量による売買ができなくなることがあります。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式には運用の効率性等の利点がありますが、マザーファンドにおいて他のペーパーファンドの追加設定・解約等に伴う売買等を行う場合には、当ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿う運用ができない場合があります。
- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

〈各種アワードについて〉

- リフィニティブ・リップー・ファンド・アワードは、「Lipper Leader Rating（リップー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」（リスク調整後リターン）を用い、評価期間3年、5年、10年でファンドを評価いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com>（英語）をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。
- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

＜本資料に関するご留意事項等＞

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。●投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。●投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。●投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。投資信託の運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、また、登録金融機関から購入された投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料の記載内容、グラフ・数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●当資料の運用実績に関するグラフ・数値等は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。各主体は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任はありません。